２０２２年度

公益財団法人日本バレーボール協会

全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議

２０２３年度　日本バレーボール協会　指導普及委員会　事業運営方針

2019 年度末にはじまった COVID-19 は、我々の社会活動、経済活動に多大な影響を及ぼし続け、指導普及委員会事業も３年間にわたり十分な事業展開ができなかった。しかし、政府は、「新型コロナウイルス感染症の位置づけについて、変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、５月８日から５類感染症に位置づけること」を決定するなど、イベント開催等における感染防止策も大幅に緩和されることが検討されている。それらを受け、2023 年度は、都道府県指導普及委員会、加盟連盟指導普及委員会との連携を更に深め、今までのノウハウを活かした感染症対策とともに、本格的な指導普及委員会事業の復活に向けた１年にする。

具体的には、「JAPAN バレーボール宣言」及び「JAPAN バレーボール WAY」の精神を常に心に留め、2024 年パリオリンピック・パラリンピック、また、その後を見据えた事業計画である「公益財団法人日本バレーボール協会　第 14 期・2023 年度事業計画」及び「2023 年度指導普及事業本部事業計画」の実現を目標に、日本バレーボール協会各委員会、都道府県バレーボール協会・加盟連盟指導普及関連部署等の関係組織及び日本スポーツ協会等のスポーツ関連団体との連携を強化し、「指導者養成に関する事項」、「指導者情報の適切な管理に関する事項」及び「バレーボール・ビーチバレーボール・ソフトバレーボールの普及に関する事項」に注力する。

皆様の強力なご協力をお願い申し上げます。

指導普及委員会として、以下の事項について重点項目とし、各部で具現化を目指す。(委員長：亀ヶ谷　純一)

１）COVID-19 感染拡大予防に関する事項の継続（事態悪化による事業中止依頼等を含む）

２）指導者の資質向上を目指す事業の推進　<u>重点課題：体罰、暴力等ハラスメントの撲滅</u>
関連部署（2022 年度現在：指導現場における暴力等対策委員会）との連携

３）JSPO 有資格者増を目指す事業の推進　⇒　早期に目標の２万人の達成（有効者）　10/1　19,749 人
①全国どこで受講しても同一の内容・レベルの講習会を目指す。
②各大会プログラム等でのチーム別プロフィールにおいて、監督・コーチが所有するバレーボール資格の記載を進める。
③JVA の管理下にある指導有資格者のデータベースを整え、有効活用を図る。

４）指導者の認定・登録に関わる事項

５）若年層バレーボール人口の拡大を目指す事業の推進

６）ビーチバレーボール指導者の資質向上を目指す事業の推進

７）ソフトバレーボール指導者養成と愛好者増加を目指す事業の推進

８）都道府県協会・加盟連盟指導普及委員長との連携強化
①指導者講習会・研修会等の支援活動
②バレーボール・ビーチバレーボール・ソフトバレーボールの普及
③ＨＰ・メールでの情報提供（JSPO・FIVB・各種講習会情報等）
④指導普及委員会事業に関する問い合わせ窓口（volleyball@email.plala.or.jp）
⑤都道府県協会・加盟連盟での問題点の把握

９）指導者との連携強化
①指導者の登録・管理
②効果的で安全な講習会・研修会の実施（web 講習会・研修会実施の検討）

10）公認講師の計画的育成の推進
11）公認講師・（名誉）マスターリーダー・アクティブリーダーの認定
12）バレーボール指導者・指導現場における問題事案の把握
　　指導現場における暴力等対策委員会との連携
13）「ベンチ入り資格」の継続的検討　⇒　監督・コーチはJSPO有資格者へ
14）障がい者への受講支援　（障害者差別解消法に基づく合理的配慮の準備⇒10万円予算化）
15）女性指導者の養成（JSPO資格・公認講師、ソフトバレーボール指導者の調査）
16）スタートコーチ養成の意義に関する検討
17）予算の策定（収入増による事業の高度化）

1．指導部　(部長：蓮　一臣)
1）指導者の資質向上を目指す研修会の実施（特に体罰、暴力等ハラスメントの撲滅）
2）都道府県別指導者研修会の充実・（2年に1度の実施に向けての検討）
3）バレーボール指導者　養成講習会の実施
　①公認講師を中心とした講師での講習会の実施
　②コーチ1．コーチ2養成講習会に対するサポート
　③全国統一テスト(理論・実技)の実施
4）コーチ3．コーチ4講習会の実施
5）公認講師の養成（各講習会・研修会の質向上を目指す）　「名誉公認講師」の策定
6）講習会・研修会への講師（公認講師）派遣に関するサポート
7）ビーチバレーボールの指導者養成に関する方策の検討
8）JSPO専門科目カリキュラムの継続的見直し
9）免除適応コース承認校へのサポート
10）FIVB資格取得支援・JVA推薦取得に関する手続きの統一
11）情報発信の企画推進
　　webでの講習会・指導法に関する動画を紹介するプラットフォームの整備等
　　（youtube等を利用した講習会の質向上及び効率化の検討）
12）免除適応コース承認校についての検討

2．普及部　(部長：緒方　良)
1）若年層を対象とした指導者の養成
　①小学生・中学生に対して正しい指導の出来る指導者の養成
　②地域クラブでの若年層（幼児から小学校低学年）の取り込み
　③発掘育成委員会との連携強化　⇒講習会・研修会の共同実施検討

2）ソフトバレーボールマスターリーダー・アクティブリーダー講習会・研修会の充実
　講習会・研修会カリキュラムの継続的見直し

3）指導普及委員会主管大会の支援

①ソフトバレーボール・ブロックフェスティバルの充実

予選参加チーム・選手数増を目指す（ニーズの調査）

②ヤングクラブ大会の充実

運動部活動改革(スポーツ庁)への対応

学校部活動で十分な活動ができない児童・生徒への支援(活躍の場の提供)・地域クラブ支援

有資格者が活躍できる場の提供　⇒　有資格者の養成　若年層対象の指導者が活躍できる場の提供

ベンチ入り資格のモデル作成　⇒　その他大会での実施

体罰等防止の徹底　（大会への必須の参加条件）

バレーボール大会のベンチに入る方は全員有資格者であることを目指す

監督・コーチはコーチ１以上(現状)

部長・マネージャ等はマネージメント資格またはスタートコーチ以上等

有資格者の地位向上を目指す　⇒　大会プログラムに有資格者であることの記載等の継続

大会中に JSPO の ID の提示義務(ネームホルダーを利用)

発掘育成委員会との連携　⇒　優秀選手発掘へ

U16への対応　　中体連⇔ヤング連盟　との連携

3．登録部　(部長：積山　和明)

1）更新研修について受講しやすい環境の整備（資格保留・停止者数減）

都道府県別指導者研修会をはじめとする資格更新研修の充実

更新研修のポイント制導入に関する検討

2）資格停止者の復活申請・再認定に関する業務

（都道府県指導普及委員長へのサポート体制の確立・２期ルールの徹底）

3）講習会・研修会等の修了証の作成（事業担当者への送付）

4）公認講師の情報管理（任期 2021 年４月～2025 年３月）

5）公認講師・(名誉）マスターリーダー・アクティブリーダーの認定・管理

規程の管理、ソフトバレーボールアクティブリーダーへの円滑な移行

6）有資格指導者の JVAMRS への登録促進・啓発活動、JVAMRS の有効活用

7）有資格指導者の地位向上に関する取り組み

8）JVA 指導普及委員会 HP の充実

共有すべき情報・情報の変更等はご連絡ください。（volleyball@cmail.plala.or.jp）

(重要)　ご確認・ブックマークをお願い申し上げます。

http://www.japanese-volleyball.info/

ユーザー　　jvavolleyball

パスワード　cdd1510051

以上

2023年度　指導普及委員会関連事業【予定】一覧　　【2023/02/26】
※COVID-19感染拡大防止のため、政府・行政関係機関の要請により変更・中止することがある。

事業NO.	事業名	実施日程	開催地(場所)	担当者
1	指導普及委員会・部会	年間事業	東京都・大阪府	亀ヶ谷
2	全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議	2月24日(土)～25日(日)	東京都	亀ヶ谷
3	体罰(ハラスメント)等情報集約	年間事業		亀ヶ谷・緒方
4	日本スポーツ協会「免除適応コース」承認	年間事業		蓮
5	日本スポーツ協会「更新研修」承認	年間事業		土岡
6	JVA後援名義使用承認	年間事業		土岡
7	指導者資格承認（公認講師・準指導員・名誉マスター）	年間事業		積山
8	日本スポーツ協会指導者資格　復活登録申請・再認定承認事業	前期：4月30日・後期：10月31日		積山
9	共通科目コーチデベロッパー推薦（JSPO)	４月(予定)		亀ヶ谷
10	公認講師認定講習会	12月16日(土)～17日(日)	東京都	横山・小野
11	日本スポーツ協会公認指導者講習会（スタートコーチ）	年間事業	各都道府県	都道府県
12	日本スポーツ協会公認指導者講習会（コーチ1）	年間事業	各都道府県	都道府県
13	日本スポーツ協会公認指導者講習会（コーチ2）	年間事業	各都道府県	都道府県
14	日本スポーツ協会公認指導者講習会（コーチ3）	8月6日(日)～9日(水)	明治学院大学(東京都)	積山・姫野
15	日本スポーツ協会公認指導者講習会（コーチ4）	8月6日(日)～10日(木)	明治学院大学(東京都)	緒方・橋爪
16	全国小学生指導者第一次講習会	７月～１月	５会場	森
17	全国小学生指導者第二次講習会【準指導員】	７月～１０月	４会場	森
18	全国学生対象コーチ１養成講習会【準指導員】	12月23日(土)～25日(月)	東京都・大阪府	根本・藤井
19	クラブ連盟対象コーチ１養成講習会【準指導員】	12月2日(土)～3日(日)＋1日	福岡県立ももち文化センター	安田
20	ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会	6月1日(水)～12月31日(土)	15会場を予定	橋爪
21	ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会・更新研修会	6月24日(土)～6月25日(日)	東淀川体育館他(大阪市)	吉井(橋爪)
22	都道府県別指導者研修会	４月～２月	各都道府県	姫野・橋爪
23	公認指導者研修会(公認講師・コーチ３・コーチ４対象)	10月28日(土)～10月29日(日)	大阪府	藤井・三枝
24	全国中学生バレーボール指導者研修会	6月～3月	10会場を予定	緒方・小澤
25	日本実業団バレーボール連盟全国指導者研修会	10月21日(土)～10月22日(日)	リコーインダストリー東北(宮城県)	西塚
26	ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会	4月1日(木)～12月31日(金)	41会場を予定	高塚(橋爪)
27	ビーチバレーボール指導者スキルアップ研修会	調整中	3会場を予定	石川
28	ソフトバレーボール・ブロックフェスティバル	7月～2月	各ブロックで開催	川上(橋爪)
29	ヤングクラブバレーボール連盟　関連事業	9月30日(土)～10月1日(日)	大阪府【女子】・和歌山県【男子】	土岡・三枝
30	都道府県・加盟連盟事業調査・委員長調査(2024年度)	1月15日(月)		姫野・中谷
31	FIVB情報集約・関連事業	年間事業		小倉・山木
32	障がい者受講支援事業	年間事業		小倉・中達
33	日本スポーツ協会コーチ（SC・1・2）講習会支援事業	年間事業		神山・中山
34	連絡用HP作成事業	年間事業		姫野・中谷
35	講習会・研修会講師派遣事業(講師相談窓口)	年間事業		根本・藤井

【　日本スポーツ協会「更新研修」の承認について　】

ＪＶＡの主催ではないが，バレーボール関連団体が実施する研修について，「日本スポーツ協会の資格更新に必要な研修（更新研修）」として認める制度です．
更新研修として認められる最低基準として，
１）６時間以上の講習であること
２）講師は主としてＪＶＡ公認講師が担当すること
３）ＪＶＡ－ＭＲＳに登録済みであること
４）研修会で設けられている全てのプログラムに参加すること
とし，指導普及委員会において，カリキュラム内容を精査し，基準を満たしていれば更新研修会として認めます．

申請先（担当：土岡大介　volleyball@dmail.plala.or.jp）

【　ＪＶＡ後援名義申請使用の承認について　】

各種事業開催において，後援名義としてＪＶＡを使用したい場合には，申請の鑑文書に加え，以下の関係資料を添えて申請を挙げて下さい．
１）事業実施要項（参考となるプログラム等）
２）事業収支予算書
３）役員名簿（事業における役員や実行委員会等の名簿）
４）初回の後援申請場合は，その理由書
　ＪＶＡの後援名義を必要とする理由について，様式自由とする．また，他団体にも同時に後援名義申請を依頼している場合には，その団体名を理由文書とは別に記載すること．
５）安全対策，事故防止体制等に関する文書
　事業を開催する場合，安全対策・事故防止・感染予防対策をどのように講じているか．

＊本申請をする場合，主催者が後援をすることはできませんので，事業主催者名にＪＶＡは使用できません．
申請する場合には，下記まで連絡をいただければ，申請に必要な鑑文書等の様式を送付いたします．
申請先（担当：土岡大介　volleyball@dmail.plala.or.jp）

2022 年度　事業実績

【日本スポーツ協会「更新研修」認可】
・全国私立高等学校バレーボール連盟
令和 4 年度全国私学バレーボール指導者養成講習会 兼 資格更新のための更新研修会
（関東・東京地区講習会）2022 年 7 月 2 日（土）～3 日（日）
（北海道・東北地区講習会）2022 年 7 月 30 日（土）～31 日（日）

・日本バレーボール学会
日本バレーボール学会第 28 回大会，2023 年 3 月 4 日（土）～5 日（日），宮城県

【ＪＶＡ後援名義使用承認】
・全国私立高等学校バレーボール連盟
令和 4 年度全国私学バレーボール指導者養成講習会 兼 資格更新のための更新研修会
（関東・東京地区講習会）2022 年 7 月 2 日（土）～3 日（日）
（北海道・東北地区講習会）2022 年 7 月 30 日（土）～31 日（日）

・日本バレーボール学会
日本バレーボール学会第 28 回大会，2023 年 3 月 4 日（土）～5 日（日），宮城県

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録状況
（2022年10月現在）

表３．競技（種別）・資格別認定者数　（人）

	資格 / 競技（種別）		スタートコーチ	コーチ				教師		合計
				コーチ１	コーチ２	コーチ３	コーチ４	教師	上級教師	
1	陸上競技		61	4,110	66	1,139	183	-	-	5,559
2	水泳	水泳	-	7,943	1,287	-	-	1,997	412	11,639
3		競泳	-	-	-	2,503	657	-	-	3,160
4		水球	-	-	-	160	75	-	-	235
5		飛込	-	-	-	126	53	-	-	179
6		アーティスティックスイミング	-	-	-	261	89	-	-	350
7		オープンウォータースイミング	-	-	-	28	0	-	-	28
8	サッカー		-	30,662	-	7,408	3,059	-	-	41,129
9	スキー	スキー	-	-	-	-	-	205	224	429
10		スノーボード	-	-	-	-	-	-	-	0
11		スキー・スノーボード	-	614	1,545	86	23	-	-	2,268
12	テニス		-	1,932	1,085	345	228	229	101	3,920
13	ボート		-	402	1	301	75	-	-	779
14	ホッケー		-	90	0	639	117	-	-	846
15	ボクシング		-	4	0	376	14	-	-	394
16	バレーボール		772	17,075	742	668	492	-	-	19,749
17	体操	体操	-	501	127	2	-	-	-	630
18		体操競技	-	0	0	809	42	-	-	851
19		新体操	-	0	0	623	37	-	-	660
20		トランポリン	-	0	0	159	-	-	-	159
21	バスケットボール		-	11,209	-	1,078	411	-	-	12,698
22	スケート		-	393	46	220	43	75	-	777
23	レスリング		-	352	1	1	21	-	-	375
24	セーリング		-	183	84	241	90	-	-	598
25	ウエイトリフティング		-	200	-	120	57	-	-	377
26	ハンドボール		708	1,095	35	806	103	-	-	2,747
27	自転車競技		-	241	0	423	46	-	-	710
28	ソフトテニス		4	2,736	300	279	16	-	-	3,335
29	卓球		-	1,371	1,014	773	86	-	-	3,244
30	軟式野球		-	2,937	0	409	-	-	-	3,346
31	相撲		-	301	0	0	-	-	-	301
32	馬術		-	100	0	344	-	-	-	444
33	フェンシング		-	593	0	106	38	-	-	737
34	柔道		-	555	0	355	38	-	-	948
35	ソフトボール		757	11,365	483	435	55	-	-	13,095
36	バドミントン		-	2,260	479	405	95	-	-	3,239
37	弓道		-	5,777	483	51	-	-	-	6,311
38	ライフル射撃		-	2	0	264	10	-	-	276
39	剣道		-	1,754	237	-	-	-	-	1,991
40	近代五種		-	0	0	16	3	-	-	19
41	ラグビーフットボール		-	1,134	46	1,160	100	-	-	2,440
42	山岳・スポーツクライミング	山岳	-	917	737	49	53	-	-	1,756
43		スポーツクライミング	-	550	117	15	6	-	-	688
44	カヌー		-	186	6	307	20	-	-	519
45	アーチェリー		-	725	13	38	-	-	-	776
46	空手道		-	2,103	1,315	748	448	-	-	4,614
47	アイスホッケー		-	368	0	-	4	-	-	372
48	銃剣道		-	627	35	-	-	-	-	662
49	クレー射撃		-	286	0	1	-	-	-	287
50	なぎなた		-	910	59	167	29	-	-	1,165
51	ボウリング		-	712	4	128	22	0	-	866
52	ボブスレー・リュージュ・スケルトン		-	0	0	17	8	-	-	25
53	綱引		-	83	0	-	-	-	-	83
54	ゲートボール		-	1,024	0	-	-	-	-	1,024
55	ゴルフ		-	224	0	0	0	-	-	224
56	カーリング		-	402	108	0	0	-	-	510
57	パワーリフティング		-	173	0	-	-	-	-	173
58	グラウンド・ゴルフ		-	133	0	-	-	-	-	133
59	トライアスロン		4	413	0	-	-	-	-	417
60	バウンドテニス		-	65	2	-	-	-	-	67
61	エアロビック		-	517	43	0	29	8	-	597
62	バイアスロン		-	8	0	28	2	-	-	38
63	ドッジボール		-	241	0	-	-	-	-	241
64	チアリーディング	チアリーディング	-	2	1	72	-	-	-	75
65		チアダンス	-	4	0	3	-	-	-	7
66	ダンススポーツ		-	159	0	136	-	-	-	295
67	ローラースポーツ		-	0	0	-	-	-	-	0
68	アメリカンフットボール		-	386	0	4	-	-	-	390
69	プロゴルフ		-	0	0	-	-	74	82	156
70	プロテニス		-	0	0	-	-	119	105	224
71	プロスキー		-	0	0	-	-	23	58	81
72	スクーバ・ダイビング		-	345	67	-	-	-	-	412
73	オリエンテーリング		-	19	15	-	-	-	-	34
74	その他		-	27	0	-	-	-	-	27
合計			2,306	119,500	10,583	24,832	6,977	2,730	982	167,910

２０２２年度　公益財団法人日本バレーボール協会公認講師認定講習会　報告

1　目　　的　公益財団法人日本バレーボール協会が主催・主管または後援する指導者養成講習会や研修会・教室等で中心的講師としてその任にあたる「公認講師」の養成を目的とし、本講習会での合格者を公益財団法人日本バレーボール協会指導普及事業本部で審議の上、「公益財団法人日本バレーボール協会公認講師」として認定する。

2　主　　催　公益財団法人日本バレーボール協会

3　主　　管　公益財団法人日本バレーボール協会　指導普及委員会

4　期　　間　2022年12月18日
2022年3月5日(土)　9:00　開講式　　16:00　閉講式（電車トラブル有り、少し繰り上げて対応）

5　会　　場　APアネックス品川　会議室

6　認　　定　　者

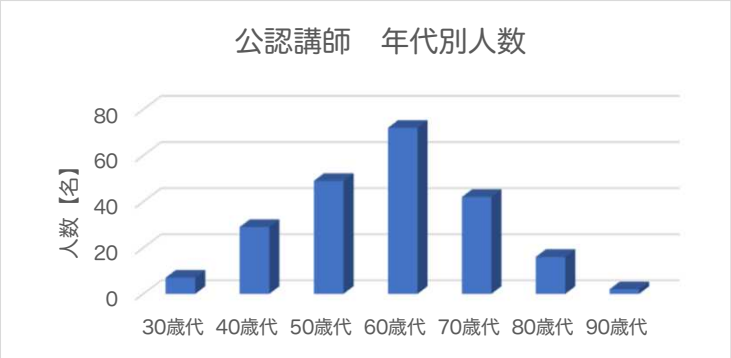
氏名	推薦団体	専門分野
古田　洋一	北海道バレーボール協会	アンダーカテゴリの育成・強化
吉田　篤弘	埼玉県バレーボール協会	高校女子バレーボール指導
牟田　晃	佐賀県バレーボール協会	クラブチームの新しい可能性について
辻　知恵	山梨県バレーボール協会	中・高校生指導、セッター育成
中谷　壮志	島根県バレーボール協会	初心者指導法、初心者指導実習、トレーニング論
岡田　旭生	香川県バレーボール協会	初心者導入法
斉藤　健次	茨城県バレーボール協会	シニア女子コーチング　高校生男子コーチング　データ分析等
恩田　保	島根県バレーボール協会	6人制、9人制フォーメーション・戦術・戦略

本年度、8名の先生を公認講師として認定することができました。
受講者の皆様、ご推薦いただきました皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

お願い
現在の公認講師の任期は、2023年3月31日までとなっております。
公認講師の方は、継続手続きにご協力くださいますようお願い申し上げます。
また、2019年度の各都道府県の公認講師人数等、本冊子の資料をご確認ください。

日本スポーツ協会資格取得講習会・資格更新のために必要な研修、バレーボール教室についての講師は、
原則「公認講師であること(一部例外あり)」としております。円滑な事業運営のため、2020年度事業計画をご参照の上、
計画的な公認講師の養成をお願いいたします。

※現在、女性公認講師比率が10/198(約5%）となっております。また、年代別人数も併せてご確認ください。



担当：横山・橋爪

2023年度　公益財団法人日本バレーボール協会公認講師認定講習会

1	目　　的	公益財団法人日本バレーボール協会が主催・主管または後援するバレーボール【6人制・9人制】・ビーチバレーボール・ソフトバレーボールの指導者養成講習会や各種研修会・教室等の事業において、中心的講師としてその任にあたる「公認講師」の養成を目的とする。
2	主　　催	公益財団法人日本バレーボール協会
3	主　　管	公益財団法人日本バレーボール協会　指導普及委員会
4	期　　間	2023年12月16日(土)・17日(日)　9:00～17:00　（仮予定）
5	会　　場	AP品川アネックス　1階 Aルーム　　AP品川アネックス｜品川駅周辺｜会議室セレクト (kaigi-select.com)
6	参加対象者	以下の条件を満たし、公益財団法人日本バレーボール協会加盟連盟・都道府県バレーボール協会等、バレーボール関連団体で公認講師候補者として推薦を受け、公益財団法人日本バレーボール協会指導者養成委員会が受講を認めた指導者。 ・原則として、公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者（コーチ３・コーチ４有資格者）。 ・バレーボール(6・9人制）・ソフトバレーボール・ビーチバレーボールにおける理論、実技の専門分野を持ち、指導力に優れた指導者。 ・加盟連盟または都道府県協会、日本スポーツ協会等が主催する研修会・講習会等で相当の講師経験があり、今後、公益財団法人日本バレーボール協会主催講習会・研修会・教室等開催において中心的人物となる指導者。 ・2021年度、JVAMRSに有効に登録されている指導者。（JVAの会員であること) （※各都道府県・加盟連盟から、合計10名程度のご推薦を予定しています。）
7	プログラム	候補者の専門分野についてのプレゼンテーションを実施する。 時間等についての詳細は、受講人数決定後にメールを通じて候補者に連絡する。 （15～20分発表　＋　10分質疑応答）※時間厳守
8	問い合わせ先	大阪府立大学工業高等専門学校　橋爪　裕 volleyball@email.plala.or.jp　　090－8524－1574
9	申　込　み	加盟連盟または都道府県指導普及委員長から個人調書を入手し、必要事項を記入の上、メールにて申込先まで送付すること。 ※受講確定後、以下の写真・資料の提出をお願いします。ご準備ください。 ① 写真(証明写真：データ3cm×3cm) ② プレゼンテーション資料（A４　2枚程度） （申込先）　メール　volleyball@email.plala.or.jp 大阪府立大学工業高等専門学校　橋爪　裕 （〆切日）　個人調書提出期限　**11月19日(日)** プレゼンテーション資料提出期限　**11月30日(木)**
10	その他	・メールでの送付ファイルは、事務作業用のファイルです。推薦者の印及び候補者の自署は必要ありません。原本は郵送してください。 ・本講習会に関する情報は　http://volleyball.justhpbs.jp/　に掲載する。 ・COVID-19感染症拡大状況に応じて、カリキュラムや講習方法を大幅に変更することがある。 ・COVID-19感染症拡大状況に応じて、ZOOM等を利用したweb講習会とする可能性がある。 **【重要】**※政府・都道府県、スポーツ庁・日本スポーツ協会等の関係機関から要請を受け、日本バレーボール協会指導普及委員会が、やむを得ず、講習会の中止や延期（一部の日程変更を含む）を判断した場合、受講者の旅費・宿泊費・交通費等に関する保証はできません。

公益財団法人日本スポーツ協会公認
バレーボールコーチ１専門科目　カリキュラム

養成目的　公益財団法人日本スポーツ協会の定める「公認スポーツ指導者育成基本方針」及び公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」、「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」を理解し、プレイヤーズセンタードの理念の基、各地域において、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校部活動・ヤングバレーボールクラブ等のコーチングスタッフとして活躍できる指導者の養成。

受講条件　受講年度の4月1日現在、満18歳以上で、主催団体が受講を認めた者。

区分		カリキュラム内容		時間数		
		No.	科目	集合	その他	計
1	基礎理論	①	指導者の在り方	１ｈ	－	１ｈ
		②	バレーボールの歴史	１ｈ	－	１ｈ
		③	ビーチバレーボールの指導法と競技規則	２ｈ	－	２ｈ
		④	競技規則と審判法（６／９）	１ｈ	－	１ｈ
		⑤	練習計画の立案	１ｈ	－	１ｈ
		小　計		６ｈ	０ｈ	６ｈ
2	実技・指導実習	①	指導実習（基礎Ｉ）	２ｈ	－	２ｈ
		②	初心者導入法（２／４／６／９）	２ｈ	－	２ｈ
		③	初心者指導実習	－	２ｈ	２ｈ
		④	フォーメーション（基礎）	１ｈ	－	１ｈ
		⑤	フォーメーション指導実習（基礎）	－	１ｈ	１ｈ
		⑥	ウォーミングアップとクーリングダウン	１ｈ	－	１ｈ
		⑦	救急法実習	２ｈ	－	１ｈ
		小　計		８ｈ	３ｈ	１１ｈ
3	コミニュケーション実習	①	グループディスカッション	１ｈ	－	１ｈ
		小　計		１ｈ	０ｈ	１ｈ
4	レポート	①	レポート課題	－	２ｈ	２ｈ
		小　計		０ｈ	２ｈ	２ｈ
合計講習時間				１５ｈ	５ｈ	２０ｈ

5	検定	①	筆記検定	合格
		②	実技検定	合格

公益財団法人日本スポーツ協会公認
バレーボールコーチ２専門科目　カリキュラム

養成目的　公益財団法人日本スポーツ協会の定める「公認スポーツ指導者育成基本方針」及び公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」、「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」を理解し、プレイヤーズセンタードの理念の基各地域において、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校部活動・ヤングバレーボールクラブ等の中心的指導者として（ヘッドコーチ等として）、他の指導者と協同しながら、安全で効果的な活動を提供し、また、他のコーチの成長を支援できる指導者の養成。

受講条件　受講年度の4月1日現在、満20歳以上で、主催団体が受講を認めた者。

区分		カリキュラム内容		時間数		
		No.	科目	集合	その他	計
1	基礎理論	①	指導者の在り方	１ｈ	－	１ｈ
		②	基礎技術と指導法（２／６／９）	２ｈ		２ｈ
		③	競技会及び講習会の管理・運営	２ｈ		２ｈ
		④	チームマネージメント	２ｈ		２ｈ
		⑤	バレーボールの事故と安全対策	２ｈ		２ｈ
		⑥	フィジカルトレーニング(基礎)	２ｈ		２ｈ
		⑦	競技規則と審判法	２ｈ	（２ｈ）	２ｈ（４ｈ）
		⑧	救急法	－	（２ｈ）	０ｈ（２ｈ）
		小　計		１３ｈ	（４ｈ）	２ｈ（６ｈ）
2	実技・指導実習	①	指導実習（基礎Ⅱ）	２ｈ	１０ｈ	１２ｈ
		②	ゲームマネジメント実習（基礎）	２ｈ	４ｈ	６ｈ
		③	フォーメーション（応用）	２ｈ	－	２ｈ
		④	発育発達段階に応じた指導法	２ｈ	－	２ｈ
		小　計		８ｈ	１４ｈ	２２ｈ
3	コミニュケーション実習	①	グループディスカッションⅠ	１ｈ	－	１ｈ
		②	グループディスカッションⅡ	１ｈ	－	１ｈ
		②	グループディスカッションⅢ	１ｈ	－	１ｈ
		小　計		３ｈ	０ｈ	１ｈ
4	レポート	①	レポート課題	－	２ｈ	２ｈ
		小　計		０ｈ	２ｈ	２ｈ
合計講習時間				２４ｈ	16ｈ(20ｈ)	40ｈ(44h)

（　）内は、コーチ１を取得せず、コーチ２から受講する場合、自宅学習が必要。

5	検定	①	筆記検定	合格
		②	実技検定	合格

国庫補助事業

2023年度　公益財団法人　日本スポーツ協会公認
バレーボールコーチ３専門科目講習会　開催要項

COVID-19感染拡大状況により、計画を変更することがあります。

１ 目　　的

公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」、「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」及び公益財団法人日本スポーツ協会の定める「公認スポーツ指導者育成基本方針」を理解し、プレイヤーズセンタードの理念の基、トップリーグ等を含むバレーボールトレーニング拠点において、企業・都道府県・ブロックの代表等、全国大会レベルでの活動・活躍を目指す選手やチームに対し、基礎的・専門的な技術の指導を行い、有望な競技者・チームの育成にあたる指導者の養成を目的とする。

２ 主　　催　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本バレーボール協会

３ 主　　管　公益財団法人 日本バレーボール協会 指導普及委員会

４ 期　　日　2023年　8月6日(日)～8月9日(水)

５ 会　　場　8月6日(日)～8月8日(火)　明治学院大学白金キャンパス【東京都】
8月9日(水)　東京都内会議室

６ 受 講 資 格

（１）2023年４月１日現在、<u>満２２歳以上</u>の者。

（２）本事業の目的に到達できる見込みのある者。

事前学習として、指導実習(応用)【20時間】及びゲームマネジメント実習(応用)【10時間】を実施できる環境がある者。

（３）都道府県バレーボール協会・加盟連盟指導普及委員長、またはバレーボール関連団体が推薦し、公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会が受講を認める者。

（４）受講有効期限内で 講習会の全日程に参加できる者。

（５）インターネットサービス「指導者マイページ」から申込ができる者。

（６）共通科目受講を含め、PC、インターネット回線、Microsoftソフトウェアを使用できる者。（オンラインでの受講・課題提出等）

※ COVID-19による特例措置のため、受講開始年度が2018年の受講者も受講可能です。

７ 講 習 内 容

専門科目（集合講習）	28時間 実技・筆記テスト2時間を含む。
専門科目（事前・事後学習）	34時間 レポート作成4時間を含む。
合計	62時間

８ 講　　師　公益財団法人　日本バレーボール協会　公認講師

９ 申 込 方 法

（１）受講希望者調書JVAファイルを　coach@jva.or.jp　まで送付すること。

申 込 締 切　**２０２３年３月１５日(水)　必着**

（２）「受講希望者調書JVAファイル」の内容に基づき、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会が受講可否を決定する。受講を認められた者には、指定のメール（調書内記載）に認証コードを通知するので**（３月20日頃予定）**、日本スポーツ協会スポーツ指導者マイページから各自申込みを行う。

https://my.japan-sports.or.jp/login　**（３月２５日まで）**

10 受　講　料　専門科目　**１１，０００円**　（税込み）**（３月２５日まで）**

※バレーボール協会にはこの専門科目の受講料のみ振り込んでください。

※その他、以下の共通Ⅲ受講料及びテキスト代が必要です。必要に応じて日本スポーツ協会の指示に従ってお支払いください。

共通科目Ⅲ　２２，０００円　　（税込み）
テキスト　原本：3，３００円またはデジタルブック：２，６４０円（税込み）
※**【重要】**受講料納入後に受講を取り下げても（受講料納入後の免除についても同様に）返金はできません。十分確認の上、お振り込みください。

11 振　込　先

みずほ銀行　渋谷中央支店　普通口座　口座番号　1474606 名義 ：公益財団法人日本バレーボール協会 （コウエキザイダンホウジンニホンバレーボールキョウカイ）

重要なお願い

※**「受講者名義」での振り込みをお願いいたします。**経理上の問題等で、受講者と振り込み人名義が異なる場合、必ずご連絡ください。

※**領収証は発行いたしません**。振り込み明細書をご利用ください。

12 必 要 物 品

筆記用具、体育館シューズ、スポーツウェア、提出レポート等
※提出書類【レポート課題】は別途連絡します。

13 資 格 認 定

本講習会（専門科目）のカリキュラムを履修し、所定の筆記・実技検定に合格した者に、「公認バレーボールコーチ３」の「専門科目修了者」とし、修了証を授与する。

本講習会（専門科目）を受講するものは、別に実施する共通科目Ⅲを受講し、合格しなければならない【共通科目Ⅲ免除者を除く】。また、申込み後の有効期限は４年間とし、期限内に「専門科目」・「共通科目」について修了できない者は、受講者としての全ての資格を喪失する。

14 そ　の　他

（１）本講習会に関する連絡事項や変更等は、調書内記載のメールへの送信、または　http://volleyball.justhpbs.jp/　を通じて行う。volleyball@email.plala.or.jp からのメールを受信できるように設定しておくこと。

（２）COVID-19感染拡大状況に応じて、カリキュラムや講習方法を大幅に変更することがある。

※政府・都道府県、スポーツ庁・日本スポーツ協会等の関係機関から要請を受け、日本バレーボール協会指導普及委員会が、やむを得ず、講習会の中止や延期（一部の日程変更を含む）を判断した場合、受講者の旅費・宿泊費・交通費に関する補償はできません。事前にご確認・お問い合わせください。

（３）日本スポーツ協会・日本バレーボール協会等が定めたCOVID-19感染拡大予防のための措置に従うこと。※講習会開催時の状況に応じて、マスク着用・アルコール消毒・検温記録等をお願いする可能性があります。

（４）受講希望者が11名以下の場合、本講習会を実施しないことがある。（日本スポーツ協会の委託対象受講人数下限が12名。）

（５）その他の詳細は、「日本スポーツ協会公認コーチ３養成講習会受講の手引き」を参照し手続き・受講を行うこと。

（６）受講の取り下げを希望する場合、「受講決定取り下げ届」を提出すること。

（７）本講習会風景の写真等は、日本バレーボール協会【指導普及委員会】ホームページ及びその他の資料へ掲載する場合がある。
※問題がある場合は、事前にご連絡ください。

15 問い合わせ先

公益財団法人　日本バレーボール協会　指導普及委員会 主事　　橋　爪　　裕　　coach@jva.or.jp ０９０－８５２４－１５７４

国庫補助事業

2022年度　公益財団法人　日本スポーツ協会公認
バレーボールコーチ４専門科目講習会　開催要項

COVID-19感染拡大状況により、計画を変更することがあります。

１ 目　　的　公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」、「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」及び公益財団法人日本スポーツ協会の定める「公認スポーツ指導者育成基本方針」を理解し、プレイヤーズセンタードの理念の基、ナショナルチーム・トップリーグ・実業団等において、国内最高レベル・国際大会レベルでの活動・活躍を目指す選手・チームに対し、極めて専門的な技術の指導を行い、有望な競技者の育成にあたる指導者養成を目的とする。

２ 主　　催　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本バレーボール協会

３ 主　　管　公益財団法人 日本バレーボール協会 指導普及委員会

４ 期　　日　2023年　8月6日(日)～8月10日(木)

５ 会　　場　8月6日(日)～8月8日(火)　明治学院大学白金キャンパス【東京都】
8月9日(水)～8月10日(木)　東京都内会議室

６ 受 講 資 格

（１）2023年4月1日時点で、日本スポーツ協会コーチ3【バレーボール】資格所有者として、公益財団法人スポーツ協会に有効に登録されている者。　**（受講中・手続き中の受講は不可）**

（２）2023年４月１日現在、満２５歳以上の者。

（３）以下の条件（a）～（d）のいずれかに該当し、都道府県バレーボール協会、加盟連盟指導普及委員長またはバレーボール関連団体が推薦し、公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会が受講を認める者。

（ａ）ナショナルチームの監督またはコーチとして、国際的な競技会に帯同した経験がある者 、 または帯同する予定がある者。

（ｂ）トップリーグや実業団等の監督またはコーチとして、国内最高レベルの競技会に帯同した経験がある者 、 または帯同する予定がある者。

（ｃ）トップリーグ・実業団・ナショナルチーム等のトップレベルチームにおいて、競技力向上方策の開発・研究に携わる者、またはこれから携わる者。

（ｄ）トップリーグ・実業団・ナショナルチーム等のトップレベルチームにおいて、国際的な最新情報の収集・分析に携わる者、またはこれから携わる者。

（４）事前学習として、指導実習(トップレベル）【30時間】及びゲームマネジメント実習(トップレベル)【10時間】を実施できる環境がある者。

（５）受講有効期限内で 講習会の全日程に参加できる者。

（６）インターネットサービス「指導者マイページ」から申込ができる者。

（７）共通科目受講を含め、PC、インターネット回線、Microsoftソフトウェアを使用できる者。（オンラインでの受講・課題提出等）

※　COVID-19による特例措置のため、受講開始年度が2018年の受講者も受講可能です。

7 講 習 内 容

専門科目（集合講習）	36時間 実技・筆記テスト2時間を含む。
専門科目（事前・事後学習）	46時間 レポート作成6時間を含む。
合計	82時間

8 講　　師　公益財団法人　日本バレーボール協会　公認講師

9 申 込 方 法
申 込 締 切

（1）受講希望者調書JVAファイルを　coach@jva.or.jp　まで送付すること。
２０２３年３月１５日(水)　必着

（2）「受講希望者調書JVAファイル」の内容に基づき、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会が受講可否を決定する。受講を認められた者には、指定のメール（調書内記載）に認証コードを通知するので**（３月２０日頃予定）**、日本スポーツ協会スポーツ指導者マイページから各自申込みを行う。

https://my.japan-sports.or.jp/login　　**（３月２５日まで）**

10 受　講　料

専門科目　**１７，６００円**　（税込み）**（３月２５日まで）**
※バレーボール協会にはこの専門科目の受講料のみ振り込んでください。
※その他、以下の共通Ⅳ受講料が必要です。日本スポーツ協会の指示に従ってお支払いください。
共通科目Ⅳ　３０，８００円　（税込み）

※**【重要】**受講料納入後に受講を取り下げても（受講料納入後の免除についても同様に）返金はできません。十分確認の上、お振り込みください。

11 振　込　先

みずほ銀行　渋谷中央支店　普通口座　口座番号　1474606 名義　：公益財団法人日本バレーボール協会 （コウエキザイダンホウジンニホンバレーボールキョウカイ）

重要なお願い

※**「受講者名義」での振り込みをお願いいたします。**経理上の問題等で、受講者と振り込み人名義が異なる場合、必ずご連絡ください。

※**領収証は発行いたしません。**振り込み明細書をご利用ください。

12 必 要 物 品

筆記用具、体育館シューズ、スポーツウェア、提出レポート等
※提出書類【レポート課題】は別途連絡します。

13 資 格 認 定

本講習会（専門科目）のカリキュラムを履修し、所定の筆記・実技検定に合格した者に、「公認バレーボールコーチ４」の「専門科目修了者」とし、修了証を授与する。

本講習会（専門科目）を受講するものは、別に実施する共通科目Ⅳを受講し、合格しなければならない。また、申込み後の有効期限は４年間とし、期限内に「専門科目」・「共通科目」について修了できない者は、受講者としての全ての資格を喪失する。

14 そ　の　他

（1） 本講習会に関する連絡事項や変更等は、調書内記載のメールへの送信、または http://volleyball.justhpbs.jp/ を通じて行う。volleyball@email.plala.or.jp からのメールを受信できるように設定しておくこと。

（2） COVID-19感染拡大状況に応じて、カリキュラムや講習方法を大幅に変更することがある。

※政府・都道府県、スポーツ庁・日本スポーツ協会等の関係機関から要請を受け、日本バレーボール協会指導普及委員会が、やむを得ず、講習会の中止や延期（一部の日程変更を含む）を判断した場合、受講者の旅費・宿泊費・交通費に関する補償はできません。事前にご確認・お問い合わせください。

（3） 日本スポーツ協会・日本バレーボール協会等が定めたCOVID-19感染拡大予防のための措置に従うこと。※講習会開催時の状況に応じて、マスク着用・アルコール消毒・検温記録等をお願いする可能性があります。

（4） 受講希望者が９名以下の場合、本講習会を実施しないことがある。（日本スポーツ協会の委託対象受講人数下限が10名。）

（5） その他の詳細は、「日本スポーツ協会公認コーチ４養成講習会受講の手引き」を参照し手続き・受講を行うこと。

（6） 受講の取り下げを希望する場合、「受講決定取り下げ届」を提出すること。

（7） 本講習会風景の写真等は、日本バレーボール協会【指導普及委員会】ホームページ及びその他の資料へ掲載する場合がある。
※問題がある場合は、事前にご連絡ください。

15 問い合わせ先

公益財団法人　日本バレーボール協会　指導普及委員会
主事　　橋　爪　　裕　　coach@jva.or.jp
０９０－８５２４－１５７４

２０２３年度全国小学生バレーボール指導者一次講習会開催要項
（日本小学生バレーボール連盟認定指導者資格取得講習会）

１．目　　的　小学生に正しく、楽しいバレーボールを指導するための指導方法について研修し、指導者の資質の向上を図る。

２．主　　催　公益財団法人日本バレーボール協会・日本小学生バレーボール連盟

３．主　　管　公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟

４．後　　援　開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関

５．開催期日　２０２３年６月～２０２４年２月末日

６．参加資格　①小学生バレーボールの指導に関わっているもの
②地域においてジュニアバレーボールの指導に関わっているもの
（中学生指導者を含む）
③小学生バレーボールの指導を希望しているもの

７．講座内容

◆１日目（13：20～17：20）

１日目	講義	13：20～	バレーボールの歴史
		14：20～	指導者のあり方
		15：20～	練習計画の立案
		16：20～	グループディスカッション

◆２日目（9：00～15：00）

２日目	実技	9：00～	ウォーミングアップとクーリングダウン実習
		10：00～	初心者導入法
		13：00～	初心者指導実習
		14：00～	フォーメーション（基礎）

８．講　　師　公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本スポーツ協会バレーボールコーチ2・3・4
日本小学生バレーボール連盟役員　他

９．参 加 料　　受講料４５００円を徴収する。

※旧1・2次講習会受講者が、『日本小学生バレーボール連盟指導者認定員』の更新講習として受講する場合は３０００円。【１日目のみの受講】

10. 参加申込み　　開催地の要項に従って申し込みを行う。

※受講希望者が５０名（要相談）に満たない場合は、実施しない場合があるので、一旦申し込み締め切りを実施日より2か月前とし、遠隔地からの受講者がキャンセル等の不利益にならないように配慮する。実施確定後の受付再開は認める。

11. そ の 他

①全課程を修了したものは、日本小学生バレーボール連盟認定指導者とし、指導者認定証を発行する。（本講習の有効期限は4年間）

②開催地は計画書及び予算書を提出することで、運営費を補助する。

③講習受講にあたり、筆記用具、運動できる服装（2日目）、体育館シューズ、顔写真（縦2.7cm、横2.2cmｶﾗｰ）持参を周知すること。

テキスト「実践！グッドコーチングジュニア編」を持っておられる方は持参願います。お持ちでない方は当日540円で販売しますのでご購入願います。

④指導者資格について

1）全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区及び都道府県最終予選会においては、過去に日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次・二次・三次）を受講した者・公益財団法人日本スポーツ協会資格を持った者が最低一人はベンチに入っていなければならない。

2）全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4のいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。

⑤この講習会（1日目）は旧1次・2次講習会受講者を対象とした『日本小学生バレーボール連盟指導者認定員』の更新講習として認める。受講修了者は日本小学生バレーボール連盟認定指導者とし、指導者認定証を発行する。（有効期限は4年間）

※この講習会は、以前まで認められていた公益財団法人日本スポーツ協会資格更新の義務研修としては認められない。

12. 開催申請

〇開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。

〇開催地は、本講習会担当者より配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。

〇開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。

〇事業担当者

公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導普及委員会
及び日本小学生バレーボール連盟担当者
［連絡先］日本小学生バレーボール連盟事務局　　office@jeva-web.com

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

２０２３年度全国小学生バレーボール指導者二次講習会開催要項
（公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1専門科目及び
日本バレーボール協会認定準指導員資格取得講習会）

１．目　　的　　地域におけるスポーツ（バレーボール）の普及・発展に寄与する指導者の育成を図る。

２．主　　催　　公益財団法人日本バレーボール協会　日本小学生バレーボール連盟

３．主　　管　　公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟

４．後　　援　　開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関

５．開催期間　　２０２３年６月～２０２４年２月末日

６．参加資格　　日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者（新・旧一次講習会修了者）

７．講習内容

◆１日目（13：30～18：00）

１日目	レポート	受付で提出	「体力面から子どもを理解する」のテーマについて、テキスト参照の上提出
	講　義	13：30～	救急法実習
		15：15～	競技規則と審判法
	試　験	17：00～	筆記テスト

◆２日目（9：00～15：00）

２日目	実　技	9：00～	指導実習（基礎１）
	試　験	11：00～	実技テスト
	実　技	13：00～	ビーチバレーボールの指導法と競技規則

※一日目には筆記試験、二日目には実技試験を行う。

８．講　　師　　公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本体育協会バレーボールバレーボールコーチ2・3・4
日本小学生バレーボール連盟役員

９．参 加 料　　受講料５０００円を徴収する。

10．参加申込み　　開催地要項に従って申込みを行う。但し、試験の都合上先着１００名程度とする。
※受講希望者が３０名（要相談）に満たない場合は、実施しない場合があるので、

一旦申し込み締め切りを実施日より2か月前とし、遠隔地からの受講者がキャンセル等の不利益にならないように配慮する。実施確定後の受付再開は認める。

11. そ の 他

①日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者(一次講習会修了者・ｽﾀｰﾄｺｰﾁ)であることを証明するため、必ず**指導者認定証を持参**すること。

②本講習会の指定科目を履修し、所定の試験を合格した者は公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1（バレーボール）専門科目修了者となり、「日本バレーボール協会準指導員」として認定し、JVA準指導員認定証を発行する。（有効期限は4年間）尚、公益財団法人日本スポーツ協会認定コーチ1（バレーボール）資格取得を希望する者は、別途同協会共通科目（45時間）を取得の上、日本スポーツ協会ホームページにて、申請手続きを行うこと。（本専門科目講習の有効期限は4年間とする）

③開催地は計画書及び予算書を提出することで、運営費を補助する。

④講習受講にあたり、筆記用具、運動できる服装（２日目）、体育館シューズ、ルールブック、**顔写真（縦2.7cm、横2.2cmｶﾗｰ）**持参を周知すること。

⑤レポート提出にあたっては、日本バレーボール協会監修「コーチングバレーボール（基礎編）　第3章「子どもたちを理解する」を読み、「3-1体力面から子どもを理解する」について、考えをまとめて、初日受付時に提出すること。(別紙レポート用紙にて2,000字以上)

※同テキストは、アマゾン等の通販や書店などで購入できます。

⑥指導者資格について

1）全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区及び都道府県最終予選会においては、過去に日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次・二次・三次）を受講した者・公益財団法人日本スポーツ協会資格を持った者が最低一人はベンチに入っていなければならない。

2）全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4のいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。

12. 開催申請

〇開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。

〇開催地は、事業担当者より配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。

〇開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。

〇事業担当者

公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導普及委員会
及び日本小学生バレーボール連盟担当者
［連絡先］日本小学生バレーボール連盟事務局　office@jeva-web.com

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

ＪＶＡ競技者拡大プログラム

２０２３年度全国小学生バレーボール指導者講習会開催予定一覧

＜一次講習会＞

No	ブロック	開催地	開催日	備考
1	東北	宮城	７月～９月予定	
2	関東	茨城	１月１３日・１４日	
3	近畿	大阪	１０月１４日・１５日予定	
4	四国	高知	１１月３日・４日	
5	九州	鹿児島	９月２日・３日	
6				

＜二次講習会＞

No	ブロック	開催地	開催日	備考
1	北海道	北海道	7月29日・30日	
2	東北	岩手県	１０月～１１月予定	
3	関東	埼玉県	１０月７日・８日	
4	中国	山口県	未定	

令和5年度　日本クラブバレーボール連盟対象
公益財団法人　日本スポーツ協会　バレーボールコーチ１（専門科目）
資格取得講習会　開催要項

１．　目的

バレーボールの実践を通して、体力・技術・精神力・マナー等を養ってきた日本クラブバレーボール連盟所属の関係者を対象とし、将来の日本バレーボール界の公認指導者を養成するとともに、日本クラブバレーボール連盟の競技レベル向上、発展を図ることを目的とする。

２．　主催　　公益財団法人日本バレーボール協会　日本クラブバレーボール連盟

３．　主管　　公益財団法人日本バレーボール協会　指導普及委員会
日本クラブバレーボール連盟　指導普及委員会
奈良県クラブバレーボール連盟

４．　後援　　近畿クラブバレーボール連盟

５．　使用球　　モルテン製ボール（Ｖ５Ｍ５０００）・ミカサ製ボール（Ｖ２００）を使用する。

６．　期日　　（第１週目）令和５年１２月２日（土）～３日（日）　　９：４５～　開講式
（第２週目）未定

７．　会場　　（研修会場）福岡県立ももち文化センター
【住所】　〒814-0006　福岡県福岡市早良区百道２丁目３番１５号　　【電話】　092–851–4545
https://momochi-taiikukan.com/
（体育館）福岡市ももち体育館
【住所】　同上
https://www.momochi-palace.net/
どちらも福岡市営地下鉄　「藤崎駅」より徒歩２分。駐車場有

８．　受講資格　　①原則として、公益財団法人日本バレーボール協会が定めるチーム加盟及び個人登録規程により、令和５年度に日本クラブバレーボール連盟に登録している構成員で、将来バレーボール指導者になることを希望する者。ただし、クラブ連盟以外の受講者も認める。
②令和５年４月１日現在で満年齢１８歳以上の者。
③全日程について受講することができる者。

９．　申込方法　　添付の受講申込書に必要事項を記入の上、下記宛にメールもしくは郵送でお送りください。
メール：　hishiking@gmai.com
郵送：　〒567-0885　　大阪府茨木市東中条町７番Ｄ–３０４
コーチ１講習会担当　日紫喜　司（ひしき　まもる）宛
（携帯）　080-5328-1965

１０．受講料　　6,000円（但し、日本および各都道府県クラブバレーボール連盟関係者以外は、10,000円とする）
受講決定後、指定口座へ納入してください。また、一度納入された受講料は返金できません。

１１．振込先　　三菱ＵＦＪ銀行（0005）　茨木支店（219）　普通0374942
日本クラブバレーボール連盟　指導普及委員会
※振込人は必ず振込人氏名を記入してください。
銀行振込依頼書を以って領収書とさせていただきます。

１２　申込締切　　令和５年９月３０日（土）　　必着

１３．講師　　公益財団法人日本バレーボール協会　公認講師が担当する。

氏　　名	都道府県	有　資　格	所　　属
橋爪　静夫	大阪府	JVA公認講師	日ク連　会長
安田　公一	京都府	JVA公認講師	日ク連　指導普及委員長
橋爪　　裕	大阪府	JVA公認講師	日ク連　指導普及委員会委員
日紫喜　司	京都府	JVA公認講師	日ク連　指導普及委員会主事
地元消防署	福岡市	救急救命士	

※講師は変更になる場合があります。

１４．受講内容

種目の特性に応じた基礎理論	①指導者の在り方	１Ｈ	６Ｈ
	②バレーボールの歴史	１Ｈ	
	③ビーチバレーボールの指導法と競技規則	２Ｈ	
	④競技規則と審判法（６・９人制）	１Ｈ	
	⑤練習計画の立案	１Ｈ	
実技・指導実習	①指導実習（基礎１）	２Ｈ	８Ｈ
	②初心者導入法（２・４・６・９人制）	２Ｈ	
	③フォーメーション（基礎）	１Ｈ	
	④ウォーミングアップとクーリングダウン	１Ｈ	
	⑤救急法実習	２Ｈ	
コミュニケーション実習	グループディスカッション	１Ｈ	１Ｈ
レポート（自宅学習）	子供たちを理解する	２Ｈ	２Ｈ
検定試験	筆記検定	１Ｈ	３Ｈ
	実技検定	２Ｈ	
		合計	２０Ｈ

※公益財団法人日本バレーボール協会 公認審判員資格保有者は、「競技規則と審判法（６・９人制）」（１時間）が免除されます。

１５．持ち物　①筆記用具、体育館用シューズ（上履き）、運動着、ホイッスル、６・９人制ルールブック（任意）
②指導教本「コーチングバレーボール」　・・受講には必須です　（希望者のみ販売）
【 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　2,300円＋税 】
書籍情報web →　https://www.taishukan.co.jp/book/b279501.html
※注意：購入希望された方は、キャンセルできませんのでご了承ください。
③６・９人制ルールブックの販売は致しません。

１６．その他　①本講習会修了者には、公益財団法人　日本バレーボール協会より修了証を授与します。
②公益財団法人 日本スポーツ協会公認コーチ１資格を取得する場合は、日本スポーツ協会開催する通信講座（コーチングアシスタント養成講座）での共通科目の受講も必要です。
日本スポーツ協会資格取得　https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid1387.html

上記共通科目を取得後、当専門科目合格結果と合わせて、下記のページから共通・専門の免除申請を行うことでコーチ１資格を申請できます。（日本スポーツ協会指導者マイページ）
https://my.japan-sports.or.jp/exemption_applications
③参加受付後やむを得ず欠席もしくはキャンセルをされる場合は、事前に講習会担当にお申し出ください。※連絡先：上記コーチ１講習会担当　日紫喜まで
④本講習会の受講は、先着６０名とします。（各都道府県のクラブ連盟所属者を優先します）
⑤受講者は、健康診断を必ず受けるなど個人の責任で健康管理に十分留意してください。
⑥参加者の怪我については、応急処置や必要であれば救急車の要請等は行いますが、最低限の傷害保険以外は一切責任を負えません。
⑦講習期間中の自然災害、火災、停電、病気（新型コロナ、食中毒、インフルエンザ、その他感染症など）、負傷等の生命の危機に関わる予期せぬ事態の発生に際しては、適切な対処に努めて参ります。
⑧宿泊場所の斡旋を行いませんので、各自で手配してください。

2023 年度　ソフトバレーボール関連事業　計画

公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会及び都道府県バレーボール協会・ソフトバレーボール連盟と緊密な連携を図り、資格取得・維持に関する講習会・研修会及びブロックフェスティバルを中心とするソフトバレーボール愛好者数の増加を目指す事業を統括的に推進する。また、ソフトバレーボールの発展にご尽力いただいた方々に感謝の意を表し、名誉マスターの推薦を積極的に行うとともに、ソフトバレーボールの講習会や研修会をマネジメントできる公認講師を計画的に養成していく。
2023 年度は、COVID-19 に対する大幅な緩和が予測されるが、従来通り感染拡大予防に注意をしながら事業を推進する。

☆ 2021 年４月１日付で開始されたアクティブリーダー制度について、都道府県連盟関係部署と情報を共有し、研修会を受講しなければ今年度末に資格有効期間が終了するアクティブリーダーの不本意な資格喪失の防止に配慮し、円滑に資格更新を行う。また、問題点の把握及び解決策の策定を行う。

☆ 資格者制度における 2021 年度の取り扱いについて引き続き周知を行う。
（マスターリーダーの有効期限を１年延期していること。）

☆ ブロックフェスティバルについて、大会の詳細を分析し、予選を含めた参加チーム・参加者の増加を目指す。

☆ 都道府県ソフトバレーボール連盟と連携を図り、計画的な名誉マスターリーダーの認定、公認講師の養成を行う。

☆ 情報管理委員会と連携し、適切に有資格者の情報管理を行う。

☆ ソフトバレーボール大会、指導・普及に関する各地のニーズを調査する。

☆ 都道府県ソフトバレーボール連盟との連携の強化
（指導普及委員会事業についての相談・問い合わせ等）

１．ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会【JVA 共催事業】
【担当：橋爪】
2023 年６月１日～12 月 31 日　の期間で実施。
Ａ：福島県・埼玉県・東京都・神奈川県・富山県・岐阜県・静岡県
Ｂ：宮城県・愛知県・徳島県・香川県・高知県・福岡県(熊本県)・宮崎県・沖縄県
<u>４月 29 日(金)　締切。</u>

２．ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会・更新研修会【JVA 共催事業】
【担当：吉井】
６月 24 日(土)～25 日(日)　　フィットネス 21 東淀川体育館
新規：48 名　更新講習：120 名

３．ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会【JVA 共催事業】
【担当：高塚】
2023 年４月１日～12 月 31 日　の期間で実施。<u>５月 31 日(火)　締切</u>
41 都道府県で開催予定
※4・５月に実施の場合は早急（開催日の２週間前）に計画書等を提出すること

4．ソフトバレーボール・ブロックフェスティバルの開催【JVA 共催事業】
【担当：川上】
2022 年 7 月上旬～2023 年 2 月上旬 の期間で実施。
(総合)
北海道(検討中)・秋田県・東京都・富山県・静岡県・滋賀県・島根県・高知県・熊本県・沖縄県
開催計画書、予算書、開催要項の提出。5 月 31 日（火）締切
視察の実施を行い、課題等について情報交換を行う予定。

5．日本バレーボール協会公認講師の養成
【担当：橋爪】

【12 月 9 日【土】～10 日【日】　東京都で開催予定】
マスターリーダー＋JSPO コーチ３・4⇒JVA 公認講師に。
各都道府県に所属する公認講師有資格者をソフトに。
（目標：都道府県でソフトバレーボールに対応できる公認講師を 1 名以上養成する。）

6．名誉マスター認定・表彰に向けた作業
【担当：橋爪】
2023 年度 12 月頃推薦を受け付けます。

2024 年 1 月 31 日　締切予定
都道府県⇒日本ソフト連盟⇒日本バレーボール協会指導普及委員会を通じて推薦する。

7．2023 年度事業調査　[google form の活用]（2023 年 1 月に実施）【担当：川上】
各都道府県に対し事業実施希望調査を行い、調整の上、国内の事業計画を立案する。

効率的・効果的な活動に向け、都道府県バレーボール協会・ソフトバレーボール連盟の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023年度　都道府県別バレーボール指導者研修会開催要項

１目　　的

　各都道府県における、バレーボール指導者の資質の向上及びこれから地域において新たに指導者を目指す者の養成を行い、各都道府県のバレーボールの普及・振興を目的として開催する。

　また、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(バレーボール)の更新に必要な研修として位置づけ、有資格者が居住または近隣都道府県で当該研修を受講できる機会を与えることを目的とする。

２主　　催　　公益財団法人日本バレーボール協会

３主　　管　　公益財団法人日本バレーボール協会　指導者養成委員会
開催都道府県バレーボール協会　指導普及委員会

４後　　援　　開催都道府県・市町村教育委員会　　等

５開 催 期 間　　２０２３年４月 ～ ２０２４年２月

６会　　場　　２０都道府県を予定
本事業の重要性から、今後は、各都道府県で2年に1度の開催を計画しておりますので、計画的な実施をお願い申し上げます。

７参 加 対 象　　JVAMRSに有効に登録された指導者・選手
（１）都道府県の指導普及担当者
（２）都道府県の指導者
（３）将来、各都道府県でバレーボールを指導しようとする者
（４）公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボール指導者
（５）技能や練習方法を学習したいとする選手

８カリキュラム　　6時間以上のカリキュラムを計画すること。
講師は、公益財団法人日本バレーボール協会公認講師を中心に計画すること。

９手　続　き（１）**2023年2月中に開催の意志を担当者に連絡する。**
(web入力を通じて調査を行う)
（２）開催計画書・開催要項等、必要書類を6月30日までに送付すること。
（３）実施報告書・決算書・参加者名簿を事業終了後１ヵ月以内に提出すること。
（４）原則として、開催都道府県に最大10万円補助する。(事業後に交付)
（５）交付金の使用に関する証拠書類を送付すること。
（６）(協力のお願い)各団体での納税にご協力ください。

10申 し 込 み　　送付先　〒572-8572
寝屋川市幸町２６－１２
大阪府立大学工業高等専門学校
橋爪　裕
volleyball@email.plala.or.jp
090-8524-1574

11そ　の　他（１）申し込み・報告、手続きに関する書類は、指導普及委員会HPに掲載する。
（２）提出ファイルは最新のものを使用すること。
（３）（３)のファイル受付後、研修修了者として公益財団法人日本スポーツ協会に報告するので、マイページで確認すること。(前期［9月までの研修］・後期　年2回［3月までの研修］)
(協力のお願い)
（５）受講時にJVAMRS登録の確認をお願いいたします。
（６）本事業は、公益財団法人日本スポーツ協会指導者資格更新のために必要な研修として取り扱うことができます。当該資格の保留・失効、防止、また、将来の公認講師候補者の講師経験の場としても重要な役割を持っております。有意義にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

競技(種別)・資格別　認定者数(2018年10月現在)と
指定研修の状況(2019年8月現在)

～研修種別の見方について～
「○」→指定研修がないもの（どの研修を受けても更新研修の対象となる）
「△」→条件付き（ポイント制、JSPO研修も更新研修対象となる資格等を含む）
「×」→指定研修があるもの（当該団体が定める研修のみ実績となるもの）

「　　（人）

		資格 / 競技(種別)		コーチ1		コーチ2		コーチ3		コーチ4		教師		上級教師		その他		合計	研修種別		
				認定者数	研修種別	認定者数	研修種別	認定者数	研修種別	認定者数	研修種別	認定者数	研修種別	認定者数	研修種別	認定者数	研修種別		○	△	×
1	競技別指導者資格	陸上競技		3,208	○	78	○	904	○	214	○	-	-	-	-	-	-	4,404	4,404	0	0
2		水泳		9,333	×	1,424	×	2,682	×	851	×	2,270	×	462	×	-	-	17,022	0	0	17,022
3		サッカー		29,761	×	-	-	5,359	×	2,486	×	-	-	-	-	-	-	37,606	0	0	37,606
4		スキー		645	△	2,166	△	90	△	18	△	273	△	308	△	-	-	3,500	0	3,500	0
5		テニス		2,325	△	1,248	△	323	△	261	△	347	△	136	△	-	-	4,640	0	4,640	0
6		ボート		408	○	2	○	290	○	78	○	-	-	-	-	-	-	778	778	0	0
7		ホッケー		103	○	0	○	545	○	98	○	-	-	-	-	-	-	746	746	0	0
8		ボクシング		7	○	-	-	282	○	15	○	-	-	-	-	-	-	304	304	0	0
9		バレーボール		15,380	○	817	○	592	○	464	○	-	-	-	-	-	-	17,253	17,253	0	0
10		体操	体操	578	○	152	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	730	730	0	0
11			体操競技	-	-	-	-	655	○	48	○	-	-	-	-	-	-	703	703	0	0
12			新体操	-	-	-	-	443	○	13	○	-	-	-	-	-	-	456	456	0	0
13			トランポリン	-	-	-	-	82	○	-	-	-	-	-	-	-	-	82	82	0	0
14		バスケットボール		8,696	×	-	-	685	×	254	×	-	-	-	-	-	-	9,635	0	0	9,635
15		スケート		411	○	-	-	206	○	53	○	77	○	-	-	-	-	747	747	0	0
16		レスリング		300	○	1	○	1	○	21	○	-	-	-	-	-	-	323	323	0	0
17		セーリング		297	○	99	○	137	○	91	○	-	-	-	-	-	-	624	624	0	0
18		ウエイトリフティング		148	○	-	-	142	○	45	○	-	-	-	-	-	-	335	335	0	0
19		ハンドボール		1,021	○	41	○	534	○	83	○	-	-	-	-	-	-	1,679	1,679	0	0
20		自転車競技		254	○	1	○	327	○	44	○	-	-	-	-	-	-	626	626	0	0
21		ソフトテニス		2,486	○	331	○	273	○	17	○	-	-	-	-	-	-	3,107	3,107	0	0
22		卓球		1,398	○	1,050	○	633	○	82	○	-	-	-	-	-	-	3,163	3,163	0	0
23		軟式野球		2,352	○	-	-	292	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2,644	2,644	0	0
24		相撲		269	○	-	-	0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	269	269	0	0
25		馬術		59	○	-	-	352	○	-	-	-	-	-	-	-	-	411	411	0	0
26		柔道		425	○	-	-	380	○	42	○	-	-	-	-	-	-	847	847	0	0
27		ソフトボール		11,687	○	604	○	316	○	64	○	-	-	-	-	-	-	12,671	12,671	0	0
28		フェンシング		496	○	-	-	98	○	45	○	-	-	-	-	-	-	639	639	0	0
29		バドミントン		2,257	×	445	×	359	×	67	×	-	-	-	-	-	-	3,128	0	0	3,128
30		弓道		5,154	○	439	○	68	○	-	-	-	-	-	-	-	-	5,661	5,661	0	0
31		ライフル射撃		4	○	0	○	255	○	15	○	-	-	-	-	-	-	274	274	0	0
32		剣道		1,592	×	267	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,859	0	0	1,859
33		近代五種		-	-	-	-	20	○	5	○	-	-	-	-	-	-	25	25	0	0
34		ラグビーフットボール		996	○	51	○	839	○	118	○	-	-	-	-	-	-	2,004	2,004	0	0
35		山岳・スポーツクライミング	山岳	882	○	878	○	50	○	63	○	-	-	-	-	-	-	1,873	1,873	0	0
36			スポーツクライミング	412	○	93	○	18	○	-	-	-	-	-	-	-	-	523	523	0	0
37		カヌー		171	○	3	○	274	○	22	○	-	-	-	-	-	-	470	470	0	0
38		アーチェリー		719	○	16	○	39	○	-	-	-	-	-	-	-	-	774	774	0	0
39		空手道		2,458	×	1,367	×	631	×	419	×	-	-	-	-	-	-	4,875	0	0	4,875
40		アイスホッケー		350	○	-	-	-	-	4	○	-	-	-	-	-	-	354	354	0	0
41		銃剣道		683	○	43	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	726	726	0	0
42		クレー射撃		311	○	-	-	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	314	314	0	0
43		なぎなた		894	○	83	○	176	○	32	○	-	-	-	-	-	-	1,185	1,185	0	0
44		ボウリング		733	○	6	○	144	○	5	○	0	○	-	-	-	-	888	888	0	0
45		ボブスレー・リュージュ・スケルトン		-	-	-	-	11	○	8	○	-	-	-	-	-	-	19	19	0	0
46		綱引		74	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	74	0	0
47		ゲートボール		1,311	○	0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,311	1,311	0	0
48		カーリング		362	○	87	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	449	449	0	0
49		パワーリフティング		189	○	0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	189	189	0	0
50		グラウンド・ゴルフ		171	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	171	171	0	0
51		トライアスロン		337	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	337	337	0	0
52		ゴルフ		201	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	201	201	0	0
53		バウンドテニス		46	△	2	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	0	48	0
54		エアロビック		640	○	52	○	0	○	27	△	11	○	-	-	-	-	730	703	27	0
55		バイアスロン		2	○	-	-	30	○	2	○	-	-	-	-	-	-	34	34	0	0
56		ドッジボール		34	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	34	0	0
57		チアリーディング		1	○	0	○	24	△	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1	24	0
58		ローラースポーツ		0	○	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
59		ダンススポーツ		217	○	-	-	67	○	-	-	-	-	-	-	-	-	284	284	0	0
60		アメリカンフットボール		324	○	-	-	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	327	327	0	0
61		プロゴルフ		-	-	-	-	-	-	-	-	81	×	103	×	-	-	184	0	0	184
62		プロテニス		-	-	-	-	-	-	-	-	144	×	128	×	-	-	272	0	0	272
63		プロスキー		-	-	-	-	-	-	-	-	31	×	73	×	-	-	104	0	0	104
64		スクーバ・ダイビング		396	×	78	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	474	0	0	474
65		その他		37	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	37	0	0
66	その他	スポーツプログラマー														3,391	○	3,391	3,391	0	0
67		フィットネストレーナー														433	○	433	433	0	0
68		ジュニアスポーツ指導員														4,428	○	4,428	4,428	0	0
69		アスレティックトレーナー														3,825	×	3,825	0	0	3,825
70		スポーツドクター														6,092	×	6,092	0	0	6,092
71		スポーツデンティスト														351	×	351	0	0	351
72		スポーツ栄養士														309	△	309	0	309	0
73		アシスタントマネジャー														5,575	○	5,575	5,575	0	0
74		クラブマネジャー														397	×	397	0	0	397
合計				114,005		11,924		19,634		6,174		3,234		1,210		24,801		180,982	86,610	8,548	85,824
研修種別	○	指定研修なし		56,496	49.6%	4,927	41.3%	9,481	48.3%	1,791	29.0%	88	2.7%	0	0.0%	13,827	55.8%		47.9%	4.7%	47.4%
	△	条件付き（ポイント制などでJSPO研修も対象）		3,016	2.6%	3,416	28.6%	437	2.2%	306	5.0%	620	19.2%	444	36.7%	309	1.2%				
	×	指定研修あり		54,493	47.8%	3,581	30.0%	9,716	49.5%	4,077	66.0%	2,526	78.1%	766	63.3%	10,665	43.0%				

＊同一資格で異なる競技を有する場合にはそれぞれの競技に1人分を計上。
＊:「-」は現在養成を行っていない資格・競技。

令和５年度全国中学生バレーボール指導者研修会

１．目　　的　　中学生のバレーボール活動の現状を把握し、これからの方向性を検討するとともに、指導者の資質の向上と、現在の諸問題の解決策を考える。

２．主　　催　　（公財）日本バレーボール協会
（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部

３．主　　管　　（公財）日本バレーボール協会指導者養成委委員会
開催都道府県バレーボール協会・連盟
開催都道府県中学校体育連盟バレーボール競技部

４．後　　援　　開催都道府県・市町村教育委員会

５．オフィシャルボール　　（株）モルテン（株）ミカサ

６．開催期日　　令和 5 年 6 月～令和 6 年 3 月

７．会　　場　　９ブロック

ブロック	期日	会場
北海道	9 月 30 日（土）または 10 月 7 日（土）	中標津町総合体育館 330°アリーナ
東北	10 月 14 日（土）	岩手県矢巾町立矢巾中学校
関東	11 月	群馬県
	2 月	東京都
東海	8 月下旬	愛知県
北信越	9 月 3 日（日）	石川県白山市立光野中学校
近畿	8 月 26 日（土）	大阪府
中国	10 月	広島県広島市
四国	10 月 15 日（日）	愛媛県松山市立北条南中学校
九州	10 月 21 日（土） 22 日（日）	沖縄県スポーツ会館会議室 那覇市内中学校体育館

８．参加資格　①　現在、中学校バレーボール部を指導している者
②　将来、中学生にバレーボールを指導しようとする者
③　各都道府県中学校体育連盟バレーボール専門部指導普及担当者

９．研修内容　①　中学校運動部活動の現状とこれからの課題について
②　中学生指導関係者の資質向上について
③　中学校部活動と地域における活動のこれからの関わり方について
④　初心者指導、健康管理、具体的練習方法について
⑤　体罰防止について

10. 研修会の講　師　（公財）日本バレーボール協会公認講師
（公財）日本バレーボール協会指導普及委員会部員
（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部役員・指導普及、強化委員

11. 参加申込方法及び締切日
所定の用紙に必要事項を記載し、締切日までに申し込みをする。
申し込み先・締め切り期日（別途連絡）

12. 参加費　①（財）日本スポーツ協会公認指導員の更新のための受講の場合 1000 円
②　①以外の方　無　料

13. その他　①　全過程を修了した受講者には、修了書をお渡しします。
②　この研修会は、（財）日本スポーツ協会公認指導員の更新時の義務研修になっています。
③　研修会講師はＪＶＡより派遣します。

令和5年度「全国実業団バレーボール指導者研修会」開催要項

1　主　催　　公益財団法人日本バレーボール協会、日本実業団バレーボール連盟
2　主　管　　日本実業団バレーボール連盟強化指導普及部、宮城県実業団バレーボール連盟
3　協　力　　宮城県バレーボール協会
4　開催日　　令和５年１０月２１日（土)～２２日(日)
5　時　間　　第１日目 13:00～18:00（受付 12:30～）
　　第２日目 9:00～13:00
6　会　場　　宮城県柴田郡柴田町　リコーインダストリー東北体育館
　　所在地：宮城県柴田郡柴田町市日の出町 1-1（ＪＲ東北本線「槻木駅」徒歩２３分）
7　受講者　（１）日本実業団バレーボール連盟登録チーム及び個人
　　（２）公益財団法人 日本バレーボール協会登録チーム及び個人
　　（３）各都道府県バレーボール協会強化指導普及関係者、各チーム指導者及び研修希望者
8　研修内容（一部変更になる場合があります）

	時間	講義内容	講師
		＜ １日目 ＞	
1	13:00～13:30	開講式／オリエンテーション	主催者
2	13:30～15:00	講義：バレーボールのトレーニング論	調整中
3	15:15～18:30	実技：トレーニング実技、 指導法のポイント、練習方法について	調整中；・ 調整中
		＜ 2日目 ＞	
4	9:00～9:50	講義：バレーボーラーへの栄養指導について	調整中
5	10:00～12:45	実技：９人制バレー実戦指導（ゲーム見学、ベンチワーク等）	調整中
6	12:45～13:00	閉講式（修了証授与）	主催者

9　講　師　　公益財団法人　日本バレーボール協会公認講師
10　受講料　　1,000 円／人
11　申込締切　令和４年９月３０（金）必着
12　申込方法　ホームページの申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入し、以下の宛先に郵送するか、
　　Ｅメールで申込書を送信してください。
　　＜宛先＞
　　日本実業団バレーボール連盟強化指導普及部主事　清水　真（ｼﾐｽﾞ ﾏｺﾄ）
　　郵送先：〒270-2252　千葉県松戸市千駄堀 1489-8-203
　　Ｅ -mail：m.shimizu@yokogawa-vb.com

13　その他　　①本研修会は資格更新時の義務研修となりますので、日本スポーツ協会登録証を必ずご持参ください。
　　②宿泊が必要な方は各自で手配願います。
　　③第１日目の講義終了後、希望者による情報交換会を開催します。（別途案内）
14　問合せ先　　日本実業団バレーボール連盟強化指導普及部主事　清水　真　(ｼﾐｽﾞ ﾏｺﾄ)
　　携帯ﾃﾚ080－6801－8023　携帯ｱﾄﾞﾚｽ：m.shimizu@yokogawa-vb.com

2023年度ビーチバレーボール指導者スキルアップ研修会要項（案）

主　　催　　（公財）日本バレーボール協会・（一社）日本ビーチバレーボール連盟
共　　催　　開催都道府県バレーボール協会・開催都道府県ビーチバレーボール連盟
後　　援　　調整中
主　　管　　（公財）日本バレーボール協会指導普及委員会・
　　（一社）日本ビーチバレーボール連盟指導普及委員会

１　期　日　　調整中

２　日　程　　受付開始 8:30～　開講式 9:00～
　　実技 9:15～12：15・13：00～16:00（予定）

３　会　場　　１）２会場（予定）
　　２）１会場

４　内　容　　１）ビーチバレーボールの指導法
　　「指導者の心得」「ウォーミングアップ」「トスと繋ぎ」「攻撃」「守備」など
　　２）ビーチバレーボール指導における４スタンス理論の応用

５　対象者　　ビーチバレーボール指導者でスキルアップを目指す人
　　（将来指導者を希望する学生も可）

６　受講料　　無料

７　講　師　　１）ビーチバレーボール日本代表チームレベルを指導しているコーチ
　　２）吉川清彦（関東ビーチバレーボール連盟指導普及委員長）

８　持ち物　　天候に合った運動着・サングラス・キャップ・日焼け止め・筆記用具・飲み物等
　　※荒天の場合、体育館で行なうことがありますので
　　インドアシューズの準備もお願いします。

９　申込み　　調整中

10　問合せ先　（一社）日本ビーチバレーボール連盟指導普及委員長　石川雅道
　　kkgv777@hotmail.com

第２６回　全国ヤングバレーボールクラブ優勝大会について

（大会開催の趣旨）本大会は、学校部活動において、選手が希望するバレーボール活動を十分に実施・継続することができず、能力を発揮することが困難な生徒等が中心となり、学校を超えて、地域で年間を通じて活動を行い、その成果を発揮し、活躍することができる大会とする。また、地域で指導者資格(日本スポーツ協会資格）を有する誰もが青少年の指導者等となり、「支えるスポーツ」としてバレーボールを通して地域社会に貢献し、活躍することができる大会とする。

１　主　　催　公益財団法人日本バレーボール協会　日本ヤングクラブバレーボール連盟
読売新聞社　報知新聞大阪本社

２　主　　管　第26回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会実行委員会

３　開催期間　2023年9月30日(土)・10月1日(日)　　※代表者会議　9月24日(web予定)

４　会　　場　大阪府立門真スポーツセンター(女子)　和歌山ビッグホエール・ウェーブ（男子）

５　参加資格　大会開催の趣旨に基づいて編成され、**年間を通じて、週単位で継続的に活動しているヤングバレーボールクラブ**で、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。

（０）　適切な指導法に基づき運営されているチーム。

（１）　原則として、**募集要項等があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なクラブチーム。**学校の部活動単独チーム及び明らかに学校部活動単独チームに近いチームの参加、同一クラブの複数参加は不可とする。

（２）　日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手とチームスタッフによって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。
ただし、年齢基準は、2018年4月2日現在とする。
※Ｕ１４（14歳以下）、Ｕ１９（19歳以下：主として15歳以上）

（３）　コーチングスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）のうち１名は、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格（コーチ１・コーチ２・コーチ３・コーチ４）を有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたもの者とする。

監督及びコーチは有資格者であること。プログラムｐ６４　参照

（４）　各都道府県ヤングクラブチーム統轄団体に推薦されたチーム。ただし、統轄団体が設立されていない都道府県については、各都道府県バレーボール協会長が推薦するチーム。

（５）　別に定める**「大会参加申込みにあたってのお願い」に同意し**、代表者が責任を持って大会運営に協力できるチーム。

「年間を通じて週単位で継続的に活動する」、「学校部活動で十分に能力を発揮することができない生徒・学生が中心」という本大会の趣旨を踏まえ、推薦チームを優先すること。

※Ｕ１９男女について、出場希望調査を行い、各１２チームを超えた場合は、別に定める規程によってチーム数を制限することがある。

６　問い合わせ　大阪公立大学工業高等専門学校　橋爪　裕
volleyball@email.plala.or.jp
090-8524-1574(携帯電話)

７　そ　の　他　大会に関する連絡や変更は、日本ヤングクラブバレーボール連盟２２回大会ホームページで行う。(5月初旬に更新予定)
http://www9.plala.or.jp/volleyball/

正式な開催要項は実行委員会（５月初旬開催予定）で決定し、大会HPで発表する。

2023 年 2 月 24 日

日本ヤングクラブバレーボール連盟 関係者各位
都道府県バレーボール協会指導普及委員長各位
都道府県ヤングクラブバレーボール連盟 関係各位

（公財）日本バレーボール協会
会　長　　川合　俊一

第 1 回 U16 アジアバレーボール選手権大会の開催と出場について

平素は本協会、競技部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
2023 年度より下記概要にて、U16 アジアバレーボール選手権が初めて開催されることとなりました。参加資格が 2008 年 1 月以降出生の選手で、中学生が対象になってまいります。本大会は 2024 年度に行われる第 1 回 U17 世界選手権出場権を懸けたアジア予選を兼ね、この大会の出場経験が、将来の日本のバレーボール界の競技力の向上につながると考えます。

今後、4 月と 5 月に選手選考を兼ねた合宿を開催し、代表選手を選考してまいります。今回は日本中学校体育連盟バレーボール競技部、地域スポーツ団体、クラブチーム等から広く招集する予定です。

将来の有望選手が海外に挑戦する貴重な機会ですので、日本ヤングクラブバレーボール連盟、都道府県バレーボール協会指導普及委員長、都道府県ヤングクラブバレーボール連盟の皆様におかれましても、ご協力を賜りたいと存じます。

つきましては、急な依頼となり恐縮ではございますが、以下の基準を越える選手をご推薦ください。下記アドレスより申請フォームにご入力いただき、その内容を基に今後の選考合宿につなげてまいります。是非とも情報をお寄せいただきたく、お願い申し上げます。

（1）　参加資格　：　男女共、2008 年 1 月 1 日以降に出生した者
（2）　推薦条件　：　〈男子〉身長 180 ㎝以上、最高到達点 3m15 ㎝以上
〈女子〉身長 170 ㎝以上、最高到達点 2m80 ㎝以上
〈セッター〉　男子 180 ㎝以上、女子 170 ㎝以上　最高到達点不問
（3）　推薦方法　：　必ず、下記 URL または、QR コードより**指導者の方が申請フォームにご入力ください。**その際に、プレーや選手の特徴などを、簡単に総合所見に備考欄にご記入ください。また、下記大会日程を確認し、**出場可能であることの確認を取った上でご入力ください。**

申請フォーム：https://forms.gle/HZnHuy9mM9QN1E8XA

（4）　推薦締め切り日　：　2023 年 3 月 24 日（金）まで
（5）　選手選考　：　（公財）日本バレーボール協会　選出選考メンバー
（6）　結果発表　：　2023 年 4 月初旬　にて通知

＜第１回アジア女子・男子 U16 バレーボール選手権大会 概要＞

◆女子　　＊大会期間 ： 2023 年 7 月 1 日（土）～8 日（土）
　　＊開催国・都市 ： 中国・浙江省杭州

◆男子　　＊大会期間 ： 2023 年 7 月 22 日（土）～29 日（土）
　　＊開催国・都市 ： ウズベキスタン・タシケント

◆今後のスケジュール
－事前選手選考合宿：4 月中旬、5 月中旬、開催予定
－出場選手最終決定：5 月下旬
＊6 月 1 日(木)：女子チームスタッフ・メンバーエントリー締切
＊6 月 22 日(木)：男子チームスタッフ・メンバーエントリー締切
－女子直前国内合宿：6 月 27 日(火)～28 日(水)
＊6 月 29 日(木)現地へ移動(出国予定)
－男子直前国内合宿：7 月 18 日(火)～19 日(水)
＊7 月 20 日(木)現地へ移動(出国予定)
※出国日は航空便の運行状況により変更となる可能性があります。

◆出場予定国(2 月 3 日現在)
－女子：12 チーム

・オーストラリア	・中国	・香港	・インド
・イラン	・カザフスタン	・マカオ	・モンゴル
・タイ	・チャイニーズタイペイ	・ウズベキスタン	・日本

－男子：15 チーム

・オーストラリア	・ブルネイ	・中国	・香港
・インド	・イラン	・カザフスタン	・クウェート
・サウジアラビア	・モンゴル	・パキスタン	・タイ
・チャイニーズタイペイ	・ウズベキスタン	・日本	

以上

FIVB 資格取得支援・JVA 推薦取得に関する手続き

2022 年度報告書

１．国際バレーボール連盟（FIVB）公認コーチとは

国際バレーボール連盟（FIVB）が認定する資格です。資格取得講習会は国外で約 2 週間実施され、英語・フランス語・スペイン語で行われます。講習会の最後に実技と筆記のテストが行われ、FIVB 公認コーチレベル　1（初級）、同コーチレベル　2（中級）、同コーチレベル　3（上級）が与えられます。取得希望者は、原則として、日本スポーツ協会コーチ 3、コーチ 4 の有資格者であることとしています。

2．2022 年度推薦者：なし

2023 年事業計画

１．受講までの流れ　（開催国により多少異なる場合があります。）

① 受講希望者は、自身で FIBV のコース開催日程を確認の上、受講希望日のおおよそ２ヶ月程度前までに下記までご連絡ください。「受講希望調書（JVA 用）」様式をお送りします。
FIVB コーチコース取得支援担当（小倉）：volleyball@fmail.plala.or.jp

⇓

② 受講希望者は「受講希望調書（JVA 用）」を作成し、所属都道府県指導普及委員長等からの推薦を受けた上で（推薦文欄あり）、ご提出ください。

⇓

③ 指導普及委員会にて JVA からの推薦の可否について審議します。

⇓

④ JVA 推薦が得られ次第、受講希望コース開催国にご自身でコンタクトをとり、開催国へ提出する申請書様式などを取得・作成し、申請書内への JVA 推薦欄（会長署名）の依頼を FIVB 担当までお願いいたします。

⇓

⑤ 署名入りの申請書にて、ご自身で開催国へ申請し、受講してください。

※全体を通して、開催国からはなかなかレスポンスがない事例が多く聞かれます。お早めの申請を推奨いたします。

２．受講後の報告書提出

指導普及委員会として受講された方のご経験を蓄積し、今後、受講される方に共有していくために整備を行っております。受講後は、「受講報告書」（受講希望調書の２シート目）の作成・提出をお願いしています。

３．2023 年のコーチングコース開催について

2023 年においても、スケジュールが公開されていますのでご確認ください。
https://www.fivb.com/en/development/education/coachescalendar2023

障がい者への受講支援（障がい者差別解消法に基づく合理的配慮の準備）
2022 年度事業報告

１．障害を理由とする差別の解消の推進

国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成 25 年 6 月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定され、平成 28 年 4 月 1 日から施行されました。
令和３年５月、同法は改正されました（令和３年法律第 56 号）。改正法は、公布の日（令和３年６月４日）から起算して３年を超えない範囲内において政令で定める日から施行されます。
※内閣府ウェブサイトより引用
https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html

２．不当な差別的取扱いの例

- 障害を理由に、窓口での対応を拒んだり、順序を後回しにしたりする
- 障害を理由に、資料やパンフレットなどの提供、説明会やシンポジウムなどへの出席を拒む
- 障害を理由に、必要がないにもかかわらず介助者の同行を求めるなどの条件を付けたり、支障がないにもかかわらず介助者の同行を拒んだりする
- 本人を無視して介助者だけに話しかける
- 合理的配慮の提供を受けたことを理由に、試験などにおいて評価対象から除外したり評価に差をつけたりする

※内閣府ウェブサイト「合理的配慮サーチ」より
https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/index.html

３．JVA 指導普及委員会のおける障がい者への受講支援状況

2022 年度　100,000 円予算化　→　支援申請なし

障がい者への受講支援（障がい者差別解消法に基づく合理的配慮の準備）
2023 年事業計画

１．JVA 指導普及委員会のおける障がい者への受講支援計画

2022 年度　100,000 円予算化（2022 年度と同額）

支援の相談・申請は　volleyball@fmail.plala.or.jp
（担当：小倉かさね）までご連絡ください。

２．　合理的配慮の提供の例

- 車いす利用者のために段差に携帯スロープを渡す、高い所に陳列された商品を取って渡すなどの物理的環境への配慮を行う
- 筆談、読み上げ、手話などによるコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮を行う
- 障害の特性に応じた休憩時間の調整などのルール・慣行の柔軟な変更を行う

※内閣府ウェブサイト「合理的配慮サーチ」より
https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/index.html

３．その他参考

- 合理的配慮の提供等事例集

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/example.html

- 「心のバリアフリー」を学ぶアニメーション教材（内閣官房）

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/program.html